

年度	2015年度	開講部局	生物生産学部		
講義コード	L0001041	科目区分	教養教育科目(昼)		
授業科目名	教養ゼミ				
授業科目名 (フリガナ)	キョウヨウゼミ				
英文授業科目名	Introductory Seminar for First-Year Students				
担当教員名	吉田 将之				
担当教員名 (フリガナ)	ヨシダ マサユキ				
研究室の場所	A319		内線番号	7982	
E-mailアドレス	yosidam@				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期		
曜日時限	水 7時限, 8時限	講義室	生C315		
授業の方法	演習	授業の方法 【詳細情報】	学生による主体的な体験授業・演習を行う。		
単位	2	週時間	2	使用言語	O:その他
対象学生	1年次生				
学修の段階	1:入門レベル				
学問分野(分野)	14:農学				
学問分野(分科)	01:生産環境農学				
授業のキーワード	体験、中山間・島嶼地域				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ	<p>全学共通の2単位必修科目である。</p> <p>高校までの学びの多様化が進み、入学してくる学生の気質も多様化している。学生の中には受動的学習に慣れてしまい、自主性を重んじる大学での学習になじめない者も見受けられる。また、入学当初には、学問のおもしろさ、楽しさを体験的に理解できる機会が比較的少ないことも考えられる。</p> <p>このような学生の状況に鑑み、教養ゼミは、新生入生が学習活動へ積極的に参加することにより、知的興味を育む機会及び学生同士や学生と教員がコミュニケーションを促進できる場を提供するものである。</p>				
到達度評価の評価項目					
授業の目標・概要等	<p>自主的な学習によって支えられる大学教育へのオリエンテーション機能を果たすため、入学後の早い段階で知的活動への動機付けを高め、論理的・批判的な思考法と適切な自己表現能力を身に付けることを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員、及び学生相互のコミュニケーションを図り、学習集団の形成に役立てる。</p>				
授業計画	<p>以下は予定です。授業の進み方や施設の都合により、変更等があります。</p> <p>また地域体験学習(現地研修・農漁業体験)は土曜日に行います。</p> <p>第1回;オリエンテーションDayキャンプ関連講演 第2回;オリエンテーションDayキャンプ 第3~15回 情報教育、施設見学、地の拠点体験授業、体験授業事前・事後学習、体験授業発表会 中央図書館利用講習 総合博物館見学 地域体験学習(事前学習) 地域体験学習(現地研修・農漁業体験) 地域体験学習(事後研修) PBL(Problem based learning)に関するガイダンス PBL課題学習 PBL実習(複数回;発表会準備も含む) PBL課題全体発表会</p>				
教科書・参考書等	テーマを調べるための参考書, WebでのURL等を参考資料として用いる				
授業で使用する メディア・機器等	パワーポイントなどのプレゼンテーション機器, 模造紙, 筆記用具等				
予習・復習への アドバイス	体験授業では, 予習及び復習が不可欠となります。チームごとに集まって資料を作成する作業も求められます。				
履修上の注意 受講条件等	原則, すべての講義に参加すること。				
成績評価の基準等	<p>単位の認定にあたっては, 次の1-6を参考にして評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主的な学習活動がみられたか, また自主的な学習態度が形成されたか。【自主学习】 2. グループ討論に積極的に参加したか。【参加態度】 3. 問題点の把握とその解決のために十分な思考を行っていたか, また十分な理解ができていたか。【思考と理解】 				

成績評価の基準等	4．学習のために十分な資料収集を行ったか。【自学自習】 5．学習成果を論理的かつ効果的に発表できたか。【発表内容と発表態度】 6．質疑に対して課題を整理して答えることができたか。【課題整理と質疑応答】
メッセージ	この科目の目的は自主的な学習，論理的・批判的な思考法と適切な自己表現能力を身につけることです。よって，学生自身で主体的に取り組むという姿勢が大切です。
その他	
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。</p> <p>回答に対しては教員からコメントを入力し，改善につなげていきます。</p> <p>なお，受講者が著しく少ない場合などに，アンケートを実施しないときがあります。</p>	